



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月26日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 4838 URL http://www.spaceshower.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	11,472	4.4	607	56.8	624	52.2	396	55.8
29年3月期第3四半期	10,984	17.5	387	423.0	410	385.7	254	522.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 396百万円 (55.9%) 29年3月期第3四半期 254百万円 (522.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	35.02	—
29年3月期第3四半期	22.49	—

(参考) 持分法投資損益 30年3月期第3四半期 11百万円 29年3月期第3四半期 5百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,807	4,462	57.2
29年3月期	7,912	4,178	52.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,462百万円 29年3月期 4,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,887	0.6	535	△9.1	550	△12.2	350	0.1	30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	11,330,800株	29年3月期	11,330,800株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	－株	29年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	11,330,800株	29年3月期3Q	11,330,800株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の伸び悩みが見られたものの、企業収益や所得環境、雇用環境については改善が見られ、緩やかな回復基調にあります。一方で、世界経済は、米国政権の経済政策運営、アジア地域での経済動向や地政学的リスクを背景とした急激な為替変動等が見られ、依然として不透明さを残しております。

こうした環境の下、当社グループでは、放送業界、音楽業界、エンタテインメント業界における市場環境や消費者ニーズの変化に対応するため、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつ、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、総合音楽エンタテインメント企業への転換を図ることを基本方針として参りました。また、ファンクラブ事業を展開するコネクトプラス㈱、コンセプトカフェ運営を行うインフィニア㈱、映像制作プロダクションの㈱セップ、老舗インディーズレーベル運営の㈱Pヴァインの連結子会社4社とともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第3四半期連結累計期間においては、2017年1月25日発売の当社所属アーティスト「Suchmos（サチモス）」のアルバム「THE KIDS」が、「第59回 輝く！日本レコード大賞」の最優秀アルバム賞を受賞するなど、アーティストマネジメント関連の成果拡大が見られました。

また、11月11日～12日、当社の新プロジェクト「音楽好きから始めるフード&カルチャーイベント「GOOD VIBES NEIGHBORS」」を下北沢ケージにて開催、家族連れや外国人をはじめ、2日間で延べ1,000人が来場し好評を得ました。

加えて、当第2四半期連結会計期間に開催され、過去最大となる7万人を動員した当社主催野外ライブイベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2017」の成功や、受託レーベルからの大型タイトルリリースによるパッケージ商品販売数の増加、加入世帯数が減少傾向にあるスカパー！サービスにおいて、加入推進施策の成功により「スペースシャワーTV」配分単価が前期比上昇、その他、定額制デジタル音楽配信サービス市場の拡大や、当社が保有するカタログから多くのヒット楽曲を送り出したことによる、デジタル音楽配信の堅調な成長が実現いたしました。

これらの取り組みの結果、売上高は 11,472,893千円と前年同期比 488,633千円増（同 4.4%増）となりました。また、営業利益は 607,969千円と前年同期比 220,239千円増（同 56.8%増）、経常利益は 624,690千円と前年同期比 214,210千円増（同 52.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は 396,823千円と前年同期比 142,041千円増（同 55.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネルの運営を中心に関連イベントやコンテンツプロデュースを展開するSPACE SHOWER TV事業、アーティストマネジメントからレーベル及びディストリビューションまでアーティストビジネスを360度展開するSPACE SHOWER MUSIC事業、音楽周辺のポップカルチャー領域を開拓するSPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業、及び「WWW」「WWW X」を運営するライブハウス事業の4つの事業ユニットを中心に、連結子会社㈱Pヴァインのレーベル事業、コネクトプラス㈱のファンクラブ事業、インフィニア㈱のコンセプトカフェ事業等を加えて、各事業分野の成長施策の推進にあたっております。

SPACE SHOWER TV事業においては、主に、当社主催イベント「SPACE SHOWER SWEET LOVE SHOWER 2017」の過去最大動員達成により、売上高、経常利益ともに、前年同期を上回りました。

SPACE SHOWER MUSIC事業においては、前連結会計年度に大躍進したアーティスト関連売上の反動減はあったものの、CDパッケージ商品の販売数が好調であったことや、定額のサブスクリプション音楽配信サービスの拡大や、AIスピーカーの販売開始等を背景として、デジタル音楽配信が伸長を続けていることなどにより、前年同期比で増収増益となりました。

SPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業においては、前連結会計年度に連結子会社化したインフィニア㈱の運営するコンセプトカフェ「@ほお〜むカフェ」の集客が堅調に推移し、売上高、経常利益ともに、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は 10,366,365千円と前年同期比 444,264千円増(同 4.5%増)となり、経常利益(セグメント利益)につきましても 566,733千円と前年同期比 197,449千円増(同 53.5%増)と、増収増益となりました。

②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、大型LIVE映像制作の受注などにより、売上高は 1,106,527千円と前年同期比 44,369千円増(同 4.2%増)となりましたが、経常利益(セグメント利益)は、制作原価の増加により 52,495千円と前年同期比 220千円の微減(同 0.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に建物及び構築物が 115,603千円、工具、器具及び備品が 63,912千円、仕掛品が 63,451千円、現金及び預金が 40,929千円増加し、減価償却累計額及び減損損失累計額が 46,043千円減少した一方で、リース資産が 204,213千円、受取手形及び売掛金が 140,221千円、敷金及び保証金が 80,261千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 105,929千円減少し、7,807,014千円となりました。

負債につきましては、主に退職給付に係る負債が 46,767千円増加し、一方で買掛金が 209,779千円、未払法人税等が 115,834千円、リース債務(固定負債)が 93,434千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ 389,445千円減少し、3,344,799千円となりました。また、純資産は利益剰余金が前連結会計年度末に比べ 283,515千円増加したことにより、4,462,215千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成29年10月19日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,736,609	2,777,539
受取手形及び売掛金	1,960,158	1,819,936
商品	235,266	224,246
仕掛品	266,741	330,192
貯蔵品	6,450	9,401
繰延税金資産	151,448	152,267
その他	191,811	195,480
貸倒引当金	△61,427	△64,384
流動資産合計	5,487,058	5,444,680
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,097,423	1,213,027
機械装置及び運搬具	23,762	37,906
工具、器具及び備品	472,149	536,062
土地	72,455	72,455
リース資産	518,695	314,482
建設仮勘定	12,394	—
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,238,233	△1,192,189
有形固定資産合計	958,648	981,744
無形固定資産		
のれん	196,680	160,668
商標権	175,724	165,987
ソフトウェア	130,343	115,392
ソフトウェア仮勘定	3,000	250
その他	12,216	13,944
無形固定資産合計	517,965	456,241
投資その他の資産		
投資有価証券	266,289	292,760
敷金及び保証金	381,096	300,834
繰延税金資産	248,144	266,780
その他	79,776	95,687
貸倒引当金	△36,701	△36,717
投資その他の資産合計	938,605	919,345
固定資産合計	2,415,218	2,357,332
繰延資産		
株式交付費	8,024	2,865
その他	2,642	2,136
繰延資産合計	10,666	5,002
資産合計	7,912,944	7,807,014

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,320,301	1,110,522
リース債務	22,291	10,420
未払金	287,182	273,723
未払法人税等	237,494	121,659
預り金	511,194	517,699
賞与引当金	206,549	186,793
役員賞与引当金	19,796	12,016
返品調整引当金	78,095	65,798
売上割戻引当金	1,075	488
その他	122,881	153,533
流動負債合計	2,806,863	2,452,655
固定負債		
リース債務	143,813	50,378
退職給付に係る負債	645,551	692,319
役員退職慰労引当金	131,475	149,038
その他	6,539	408
固定負債合計	927,380	892,144
負債合計	3,734,244	3,344,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,579	977,579
利益剰余金	1,280,541	1,564,057
株主資本合計	4,178,699	4,462,215
純資産合計	4,178,699	4,462,215
負債純資産合計	7,912,944	7,807,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	10,984,259	11,472,893
売上原価	8,334,168	8,566,189
売上総利益	2,650,090	2,906,703
返品調整引当金繰入額	9,425	—
返品調整引当金戻入額	—	12,297
差引売上総利益	2,640,665	2,919,001
販売費及び一般管理費	2,252,934	2,311,031
営業利益	387,730	607,969
営業外収益		
受取利息	29	14
受取配当金	395	582
持分法による投資利益	5,462	11,290
受取賃貸料	1,305	1,305
業務受託手数料	12,580	4,027
諸預り金戻入益	3,956	3,110
助成金収入	5,000	2,000
雑収入	2,685	2,608
営業外収益合計	31,414	24,939
営業外費用		
支払利息	1,189	896
株式交付費償却	5,158	5,158
為替差損	1,387	2,074
雑損失	929	88
営業外費用合計	8,664	8,218
経常利益	410,479	624,690
特別利益		
固定資産売却益	—	1,689
特別利益合計	—	1,689
特別損失		
固定資産除却損	5,379	25,975
その他特別損失	—	4,907
特別損失合計	5,379	30,882
税金等調整前四半期純利益	405,100	595,496
法人税、住民税及び事業税	185,690	218,128
法人税等調整額	△35,191	△19,455
法人税等合計	150,498	198,672
四半期純利益	254,601	396,823
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△180	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,781	396,823

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	254,601	396,823
四半期包括利益	254,601	396,823
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,781	396,823
非支配株主に係る四半期包括利益	△180	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,922,101	1,062,158	10,984,259	—	10,984,259
セグメント間の内部売上高 又は振替高	220	34,297	34,517	△34,517	—
計	9,922,321	1,096,455	11,018,777	△34,517	10,984,259
セグメント利益	369,284	52,716	422,000	△11,521	410,479

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等△11,521千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,366,365	1,106,527	11,472,893	—	11,472,893
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28,310	28,310	△28,310	—
計	10,366,365	1,134,838	11,501,203	△28,310	11,472,893
セグメント利益	566,733	52,495	619,229	5,460	624,690

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等5,460千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。